

FFGにおけるSDGsの取組み ～行内活動「アイデア創出プロジェクト」～

2021年12月の
記事はこちら



FFGは「SDGsアイデア創出プロジェクト」と題し、三行全行員向けに、自らがSDGsに関するアイデアを創出し、全行にて取組みを実践するプロジェクトを開催しました。

本プロジェクトは、昨今の社会を取巻く環境の大きな変化を背景として組成されました。新たな価値観やビジネスモデルの変容が迫られ、地元企業のSDGsに対する取組み重要度は日々高まっています。また、SDGsの取組みは、SDGsの実践で先行する企業事例からみても、経営層から社員まで一丸となった「自分ごと」としての姿勢が重要となっています。

そこでFFGでは、全行員がSDGsを理解し、その先に自らが実践する機会をもつことが有益と考えました。本プロジェクトでは、①自らが自分ごととしてSDGsを考えるきっかけの場となること②今後SDGsを推進する立場として、FFG全行員がお客様や地域社会に対して、自らの実体験を通じた形で営業・対話に臨める姿となることを目指して企画運営しました。アイデアは、

商品企画等のビジネス面、地域支援等の社会貢献面、自らの職場を見直すきっかけとする職場改善面の3コースにて募集し、総勢424名が参加となりました。また、個人と団体申込の二つの申込体系とし、団体に関しては、若手行員から支店長に至る幅広い世代で構成されたチームや三行の混合チーム等、多様性のあるチーム編成を含めたアイデア創出活動を実施しました。応募アイデアは196件にのぼり、今後FFGがSDGs取組みの実践を行う上での財産となっています。最終選考には10件が選ばれ、FFG三行の部長陣にオンラインにてプレゼンテーションを行いました。



●アイデア企画の一例紹介

	銀行	アイデア	テーマ	講評
1	十八親和 (団体)	社会貢献	SDGs部の創設	・地域との交流機会の活用ができる ・自発的に実践する理想的な形
2	熊本 (団体)	職場改善	認証マーク商品の取り扱いとポスターの電子化について	・取組みやすく実践すべきテーマ
3	福岡 (個人)	ビジネス	SDGsアパートローン	・現実的かつ効果的なアイデア ・事業の深堀として検討すべきテーマ

今後、応募アイデアは各関連部署に展開し、提案内容の活用や組み合わせによる新たな創造といった検討を進め、実現に向けて、全行員で取組んでいきます。

FFGでは、自らがSDGsに関する理解を深め、より一層、お客様や地域社会に対してのサステナビリティに向けた活動支援を進めてまいります。

●参加者によるアイデア企画打合せ



主な選考基準

- ・アイデアを取組む意義
- ・どのような効果があるか
- ・課題と対応策
- ・FFGサステナビリティ重点項目との関連

●最終選考会



アイデア創出プロジェクト参加者インタビュー

(十八親和銀行北・大波止支店中川行員・富士見町支店佐藤行員)



面白そうな企画であったので、同期2人で参加を決めました。まずは、長期的なSDGs活動を可能にする仕組みを作り、3行間の連携も図れるアイデアを考えました。更にはFFG内でのSDGs意識浸透を図る活動として「SDGs部創設」を企画しました。行員が日頃の業務から離れ、業務外で社会貢献を含めた活動を通じて、心身共にリフレッシュできる企画です。部長陣のプレゼンは、中々経験出来ないものなので、緊張感もありましたが、楽しく取組みできました。